

年 月 日

高次救命治療センターで入院診療を受けられた患者さんへ

「熱傷患者の重症化要因に関する既存情報を用いた研究」 への協力をお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016年10月1日～2022年3月31日までに重症熱傷と診断され当院高次救命治療センターに搬送された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2023年 12月 31日

研究目的・利用方法：

熱傷は火災、高温物質、化学物質、放射線などによっておこる生体組織の局所的損傷の総称であり、熱傷の生命・機能予後に関与する因子を組み合わせることでその重症度が規定されています。また、生命予後に起因する因子として熱傷面積や年齢受傷などが知られていますが、虐待との関連についてはいまだ不明です。本研究では既存の診療情報を用いて、熱傷症例において虐待によるものはどれくらいあるのかまた、高齢者、小児に対する虐待による熱傷にどのような傾向があり、それらをどう予防するのかを調査します。

研究に用いる試料・情報の種類：

診療録より以下の項目を取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

年齢、性別、転帰、熱傷の主原因、受傷機転、受傷場所（自宅、職場、畑、野外から選択）、同居家族の有無、虐待の有無、ADL、人工呼吸器装着期間、ICU滞在期間、入院日数、来院手段（救急車、ドクターヘリ、その他から選択）、転院搬送の有無、来院時心肺停止の有無、熱傷面積、熱傷指数、予後熱傷指数、III度熱傷面積、II度熱傷面積、気道熱傷の有無、顔面熱傷の有無、頬部熱傷の有無、手指熱傷の有無、会陰部熱傷の有無、手術の有無、手術回数、同种植皮の有無、培養表皮植皮の有無、死亡の主要因、感染の主要原因

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

電話番号：058-230-6448

氏名：大岩秀明、岡田英志

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

氏名：大岩秀明

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp